

「四谷千枚田」あいちの自然100選に認定

愛知県自然観察指導員連絡協議会奥三河支部・鳳来町が推薦した「四谷千枚田」が平成16年度から愛知県が県内の豊かな自然を紹介する「あいちの豊かな自然100選」に認定されインターネットホームページ「エコスポットあいち」で紹介されます。

認定の概要

自然の名称

四谷千枚田

カテゴリー(部門、種類)

貴重な動植物・自然公園・自然保存地域・身近な自然

自然の概要

鳳来町の最北端に位置する標高883mの鞍掛山の湧き水を水源に千枚田が階段状に開かれている。

- ・ 「日本棚田100選」認定
- ・ 平成15年度農村アミニテイ・コンクール(農山村特有の美しく緑豊かな自然や歴史、風土などを基盤とした潤いと安らぎのある地域)において農林水産大臣賞受賞

自然の一番の見所

ゴールデンウィークには、千枚田の「代かき」が始まり、水を張られた水田は千枚の水鏡と言われるように見事な光景が写し出される。春にはホウライジユリ(ヤマユリ)。夏にはナツエビネ。秋は彼岸花が咲き誇り、黄金色に実った田圃が美しい。また、「はざ掛け」の田圃も絵になる。雪景色も美しい。

観察することのできる地質、動物、植物

断層、松脂岩、ヒスイ、貝の化石、木の葉の化石。

ニホンザル、イノシシ、リス、カモシカ。

ワシ・タカ類、仏法僧の鳴き声。

ホウライジユリ(ヤマユリ)、ナツエビネ、彼岸花。

ビオトープ。

賞状

愛知県鳳来町四谷地区殿

貴殿の快適環境保全形成

活動は平成十五年度農村

アミニテイ・コンクールにおいて

優秀と認められましたので

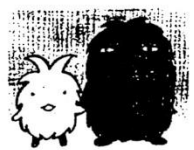
これを告貝します

平成十六年二月二十五日

農林水産大臣 亀井善之



平成十五年度農村アミニテイ・コンクール受賞式
二月二十五日(水)東商ホール(東京商工会議所)に於いて亀井農林水産大臣から表彰状・レプリカを四谷地区を代表して区長の古田和男さん、千枚田保存会長の高橋庄一が受け取りました。



愛・地球博
AXPO
2005 AICHI
JAPAN



棚田サミット
2005 鳳来町
四谷千枚田

【寄稿】

「ひろがりのはじまり」

また春がやってきました。春といえば・・・。もうすっかりそんな連想が板についてきた気がします。

はや一年、まだ一年。

私は、02年の秋から鳳来町の門谷地区で行われている植林活動に参加をしていました。日常生活では味わうことの出来ない土の感触、街では出会えない人や世代との交流に魅せられていた私に來た誘い。それが千枚田の復田活動でした。「センマイダ」とはいったいどんなものかすら知らなかった私の目に飛び込んできた広大な景観、教えていただいた長い歴史や環境に対する効用の奥深さ。これに携わらないわけがない。復田活動に一年通して携わったわけですが、その間に友人が十人ほど参加し始

め、この景観の虜になりました。「私は、なぜこの活動を続けているのか。」もちろん農業の楽しさやすばらしい千枚田の景観、人との出会いなどがありますが、友人の景観に感動している顔や土に触れて楽しそうにしている表情を見られるというだけでも私がこの活動を続けると思えます。もうすぐ大学を卒業し、春から社会人になりますが、ここで、

もっと見たり触れたり感じたりしたいことのある私は四谷の千枚田から抜けられそうにありません。はや一年、まだ一年。また今年も友人や後輩との長いようで短い一年が始まる。

追伸 これからも千枚田の活動等に参加していきまので、よろしくお願いいたします。

名古屋大学 福島正人

梅の里川売と四谷の千枚田

散策(都市農村交流事業)

三月十八日(木)、鳳来町と梅の里川売・千枚田保存会が企画した散策会が行われました。

当日の参加者は四十一名で、千枚田入り口からふれあい広場まで散策。途中、地元(保存会)の方から千枚田の昨今、労苦などの説明がありました。また、雨上がりのひと味違う千枚田の景観を楽しむことができました。感想は、①「また来た」②「餅つきに参加したい」③「住んでみたい」④「餅つき」等々でした。募集要領を中日新聞東三河版に掲載したところ、翌日役場の業務開始と同時に申し込みが殺到、約一時間足らずで百人を超し、千枚田への関心の高さに役職員もビックリ、パニックの状況であったと聞きます。

黒大豆入り金山寺みそ作り

体験と四谷の千枚田散策

(都市農村交流事業) 三月二十五日(木)鳳来町とやまびこの丘、千枚田保存会、(愛知東(協力)で行われます。募集人員四十名。

景観整備

水車小屋上の杉林を二月二十二日(日)と三月十四日(日)に小作人プロジェクトチームと千枚田保存会で伐採。おかげで千枚田の景観が一段と良くなりました。ご苦勞様でした。

千枚田保存会役員会

三月十三日(土)連谷会館において役員会が開催されました。議題は景観整備として、①三月二十一日(日)千枚田入り口から田の口までの県道に覆い被さる木立の枝打ち作業を保存会で行う。②十六年度事業として滝上から千枚田までの枝打ち作業の計画。等々

げなげな斬 ③

大きな桑の木

大代の山崩れの時、流れてきた桑の木は岩淵(多目的広場)の田圃の堰堤に止まり、その場に根付き、桑イチゴをいっぱい実らせ、近所の子供達を喜ばせたげな。古老の話では珍しく大きな桑の木だったげな。

この桑の木も、今から三十年程前に河川改修で切り倒されてしまいました。

湧き水

▽二月の終わりに千枚田のビオトープの水辺で「イボヒキダ」の卵塊がみられた。三月の上旬になっても雪が舞う今日この頃ではあるが、自然は大したものだ。ちゃんと時がくれば春もくる。さあ、千枚田も忙しくなるぞ・・・ (舜)

発行 平成十六年三月二十日 鞍掛山麓 千枚田保存会